



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 8. 20

下水道機構の『新技術情報』 第56号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



読者の皆さま、お久しぶりです。勝手ながらメールマガジンもお盆休みをさせていただきました。立秋が過ぎ、お盆も終わり、少し空が高くなったような気がします。が、しかし残暑も厳しいですね。夏バテや熱中症などにお気をつけて、元気に残暑を乗り切りましょう！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第56号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

・当機構では、「XバンドMPレーダ情報利活用方法に関する共同研究」の共同研究者を公募しています【募集期間：平成24年8月20日(月)～8月31日(金)】

・当機構では、「下水道管路施設における水面下調査技術開発に関する共同研究」の共同研究者を公募しています【募集期間：平成24年8月20日(月)～9月7日(金)】

・8月3日(金)に平成24年度の第1回技術委員会が機構特別会議室で開催され、現在研究中の7テーマ中、3テーマについて報告、審議されました

・7月19日(木)に平成24年度第一回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「大規模災害に対する早期機能回復のための情報および電気システムのあり方と構築方法に関する共同研究」について審議されました

★機構の動き

・今週は、特に予定はありません

★Tea Break

・ソラヨミ (研究第二部 Mさんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

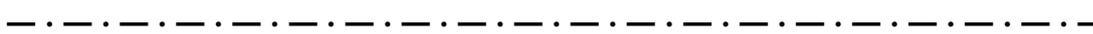
・今週は、当機構研究第一部 坪川研究員より海外出張報告【IWA-YWPC(若い水専門家の会議)@ハンガリーブタペスト】をお届けします！

★国からの情報

・8月2日付、8月10日付及び8月16日付下水道ホットインフォメーション



インフォメーション (最新の話題です)



●当機構では、「XバンドMPレーダ情報利活用方法に関する共同研究」の共同研究者を公募しています。

国土交通省では近年の豪雨対策として、従来の広域データに加え、より早く、より詳細に観測できる、XバンドMPレーダ雨量観測の試験運用を2010年7月から現在全国12地域で開始し、順次観測対象エリアを拡大しております。一般向けにはWEB上で画像(メッシュで降雨強度分布を表した画像)を試験運用として配信していますが、今後、数値データ(各地の降雨強度)の配信が予定されています。また近い将来、このデータに基づいた降雨予測が

提供されることも想定されます。

そこで当機構では X バンド MP レーダ情報を下水道分野において利活用するための基本的な考え方や留意事項等をガイドラインもしくは技術マニュアルに取りまとめることを予定しており、現在、共同研究者を募集しております。

詳しくはコチラをご覧ください→ http://www.jiwet.jp/pdf/kyodokenkyu_xband.pdf

●当機構では、東京都及び 20 政令指定都市との共同研究として、調査が困難な下水道管路施設の調査手法等を検討しております。調査が困難な下水道管路施設は多種多様ですが、例えば、満管状態または満管に近い管の状態(水面下の状態)を把握する技術は国内に無く、現状未調査の状況で、事故等が発生して初めて管の劣化や破損等が把握されるという状況です。膨大な管路ストックに対する戦略的な維持管理がますます求められるなか、維持管理の入口となる管路調査は必須であり、網羅性の観点から水面下の調査技術のラインナップも必要と考え、開発可能性の調査を計画しているところです。このため、賛同される企業団体の方々との共同研究を計画し、提案していこうと考えており、現在、共同研究者を募集しております。

詳しくはコチラをご覧ください→ http://www.jiwet.jp/pdf/kyodokenkyu_suimenkachosa.pdf

●8月3日(金)に平成24年度の第1回技術員会が機構特別会議室で開催され、現在研究中の7テーマ中、3テーマについて報告、審議されました。

以下に各テーマの審議結果の概要を示します。

(1)NADH センサーを用いた風量制御による窒素除去法に関する実用化研究

本研究は福岡市との共同研究であり、平成 21 年度に行った実行可能性調査を含めて 4 年目となる継続案件です。平成 23 年 5 月までに各種機器の設置を実施、同年 6 月～11 月までに馴致運転を開始し、現在、平成 23 年 12 月から平成 24 年 12 月までを予定とした本運転を実施しています。本委員会では、12 月～5 月末日までに得られた水質データ等をもとに実用化研究としての審議が行われました。その結果、NADH センサーによる制御の優位性と水処理プロセスとしての機能についての指摘を受けました。今後これらの内容が明らかなるものとなるように検討を行っていく予定です。

(2)回転ドラム型濃縮機の性能に関する共同研究

本研究は、(株)タクマと当機構で実施している共同研究で、新規案件として審議が行われました。円筒形に加工した耐久性に優れたウエッジワイヤースクリーンを使用する機械濃縮機で、余剰汚泥と長距離輸送され濃縮性が悪化した混合生汚泥を対象としています。

成果品として「技術マニュアル」に取りまとめるものです。委員会では、濃縮性や SS 回収率などこれまでに得られた運転結果及び実施中の実証試験結果を報告し、課題や意見等をいただきました。これら指摘事項を踏まえて、検討や実証試験結果について次回委員会で審議する予定です。

(3)大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究

本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と

当機構の6者で実施している共同研究で、今後大規模災害が起きた際、情報を活用することで下水道の早期機能回復を計ることのできるシステムについて検討を行うものです。新規案件のため、本委員会では、まず研究の目的や対象、方向性について説明を行いました。

次に、実用性に富んだシステム構築に必要な課題や機能などについて活発な議論を展開しました。今後は、被災自治体などにヒアリングを行い、早期機能回復に必要な情報の抽出などを行う予定です。

●7月19日(木)に平成24年度第一回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「大規模災害に対する早期機能回復のための情報および電気システムのあり方と構築方法に関する共同研究」についての審議が行われました。

本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の6者で実施している共同研究で、東日本大震災を受け、今後大規模災害が起きた際に、情報を活用することで下水道の早期機能回復を計る手法について検討を行います。新規案件のため、本委員会では、研究の目的や対象、方向性について説明を行い、早期機能回復に必要な情報や機能などについて活発な議論を行いました。今後は、技術委員会にて最終審議される予定です。

機構の動き (機構の行事予定です)

●今週は特に予定はありません。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●ソラヨミ (研究第二部 Mさんからの投稿です)

様々な携帯端末が多様化してきているこの頃ですが、私も常日頃からスマートフォンとiPadをかばんに入れて持ち歩いています。

この1年でよくお世話になっているアプリケーションに「XバンドMPレーダ」があります。これ

は、国土交通省が一般に配信している「XバンドMPレーダ雨量情報(XRAIN)」Webサイトと同

等の降雨観測情報を、携帯端末から閲覧することができるアプリです。

Googleマップ上の現在位置と雨雲の様子が重ねて表示されるため、自分の真上がどうなっているのか、どうなっていくのかを視覚的にわかりやすく把握することができます。私は両方の端末にインストールして使用していますが、ワンタッチでリアルタイムに降雨状況を知ることができるので、外出時、出張先でも"自助"のためのツールとして普段から活用しています。もう既に使用されている方も多いとは思いますが、まだの方、このアプリ自体は無料ですので、雨が気になる方は是非インストールして活用されてみてはいかがでしょうか。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です♪)

●今週は、当機構研究第一部 坪川研究員より【IWA-YWPC(若い水専門家の会議)@ハンガ

(RWUUA (Reclaimed Wastewater Use in Urban Area) 国際会議)」の場で進められています。来る、9月4日(火)にその第4回目の会議が中国広東省深?市において開催されることとなりました。

北九州市において行われた第3回 RWUUA 国際会議においては、再生水の安全管理規格の作成の必要性等について日中韓の三国で認識を共有したところですが、第4回 RWUUA 国際会議においては、規格案の具体化に向けた検討を行うこととなっており、議論の一層の加速を図ってまいります。

日時：9月4日(火) 9:30～

場所：中国広東省深?市 Shangri-la Hotel

日本側出席者：

京都大学 田中教授

京都大学 岡本准教授

国土交通省下水道部 那須流域下水道計画調整官

国土交通省国土技術政策総合研究所 堀江下水道研究部長

水分野国際標準化戦略検討委員会 藤木下水道部会長

○下水の再生利用と水環境保全に関する国際ワークショップの開催について

【流域管理官】

今回、第4回 RWUUA 国際会議の開催にあわせて、国土交通省や RWUUA をサポートする京都大学、中国・清華大学等の主催、日本下水道協会、GCUS 等の協力により、併設の国際ワークショップが9月3日(月)に中国広東省深?市で開催されます。本ワークショップは、水分野の国際標準化戦略の動向や、それに関連する技術開発・研究調査の動向、中国・韓国などにおける水利用高度化の技術ニーズや開発動向の情報に直接触れる貴重な機会です。企業ベースでのポスター発表や深?市周辺の浄水場・下水処理場などの現地視察も予定されていますので、案内申し上げます。

本ワークショップへの参加、ポスターセッション等についてご関心のある方は、下記事務局担当者までご連絡ください。

日時：9月3日(月) 9:00～17:00

場所：中国広東省深?市清華大学深?研究生院 C2 棟 1 階多機能ホール

主催：国土交通省・京都大学 GCOE 「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」

CREST 「21 世紀型都市水循環系の構築のための水再生技術の開発と評価」

清華大学深?研究生院

【申し込み先】

ワークショップ事務局

(日本水工設計株式会社海外事業部 事業課) 石塚 奥人

o-ishizuka@n-suiko.co.jp

● I S O 中央事務局において水分野に限定したウェブサイトが創設されました

【日本下水道協会】

I S O 中央事務局において、水分野に限定したウェブサイトが創設されました。アクセス先は以下の通りで、I S O と水 (パンフレット)、神戸の下水道展に合わせ実施した I S O 水国際ワークショップの結果に係るプレスリリース、仙台市建設局

Chapter6 Conclusion

Chapter7 Proposal Afterword

詳細は、

<http://www.eica.jp/english/>

にて **Special release** をクリックしてください。

●水再生技術の開発と評価に関するシンポジウムを開催します【CREST 田中チーム】

京都大学が、国総研、土木研究所、民間企業とともに再利用技術を開発することを目的に実施しています **CREST 田中チームシンポジウムー第2回 21世紀型都市水循環系構築のための水再生技術の開発と評価に関するシンポジウム**を開催します。

本研究では急速に水利用への適用が高まっている膜技術やオゾン等の酸化処理技術を組み合わせ、水循環利用のための「新たな水処理システム」の開発に取り組んでいます。様々な微量化学物質や病原性微生物などの処理機能、生み出される再生水のヒトを含めた生物への毒性・リスク、使用されるエネルギーの観点から、「新たな水処理システム」について評価を行い、新たに生み出される再生水の利用可能性を明らかにすることを目指しています。本シンポジウムでは、有識者をお招きしてご講演いただくとともに、当チームの現在までの研究成果を紹介いたします。

日時：平成24年8月31日（金） 12:30～16:30

会場：メルパルク東京 4F 孔雀の間（参加無料）

<http://www.wcs21st.jp/pdf/sm120831.pdf>

●平成24年度リン資源リサイクル推進功績者として表彰されました！【福岡市】

平成24年7月25日に開催されたリン資源リサイクル推進協議会第5回総会において、福岡市が功績者として表彰されました。福岡市は、昭和61年に先駆的にリン除去の技術開発に着手し、現在にいたるまで下水汚泥処理施設から回収したリンを肥料原料として有効利用してきたこれまでの継続的な取り組みが高く評価されました。

表彰式ではリン資源リサイクル推進協議会の大竹会長（大阪大学教授）から福岡市道路下水道局の篠田下水道施設部長へ表彰状が手渡されました。

●平成24年度新規共同研究者（公募型）の決定について

ー膜分離活性汚泥法の導入促進に向けた技術開発ー【日本下水道事業団】

日本下水道事業団（JS）では、平成24年度公募型共同研究「膜分離活性汚泥法の導入促進に向けた技術開発」（研究期間：平成24～26年度を予定）の共同研究者を募集しておりましたが、このたび以下の5者との共同研究を開始することといたしました。

- ・JFE エンジニアリング株式会社
 - ・ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社
 - ・飯能市／株式会社明電舎
 - ・前澤工業株式会社／住友電工ファインポリマー株式会社
 - ・三菱レイヨン株式会社／水ing株式会社／三菱化工機株式会社／日本錬水株式会社
- （50音順）

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240809kisya.pdf>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

●塩路下水道事業課長がラジオ出演【G K P企画運営委員】

●「下水道事業における放射性物質対策」研修を開催【日本下水道事業団】

●大分七夕祭りで打ち水を実施します【九州地方整備局・大分市】

=====

●塩路下水道事業課長がラジオ出演【G K P企画運営委員】

TOKYO FM (80.0) の放送番組に、塩路下水道事業課長が対談で出演します。番組は、日曜日のAM5:45から15分間放送されている「今井澄子のグローバルアイ」で8月12日(日)と8月19日(日)の2週にわたっての放送です。

今井先生はアメリカで環境デザインを身につけられ、現在は日本で「本物」「上品さ」「ゆとり」「暖かさ」をコンセプトに環境デザイナーとして活躍されるかたわら、学生の指導にも当たっておられます。

今回は下水道の真の価値をより多くの人に理解させたいと云うことで企画されたものです。マンホールふたの話、ディスプレイなど色々な話が出ると思います。地域的に聞けないところは、後日ネットで流される予定もあるとのことなので、日時が決まりましたらお知らせします。

●「下水道事業における放射性物質対策」研修を開催【日本下水道事業団】

日本下水道事業団(JS)では、福島第一原子力発電所事故に伴って下水道事業における放射性物質対策が課題となっている現状に鑑み、このたび標記研修を実施することとしました。本研修は、下水道の維持管理に携わる地方公共団体及び民間事業者の職員を対象に、放射性物質を検出した下水汚泥の取り扱いの基礎知識や下水汚泥の安全な処理処分に関して今知っておくべき知識を、第一線で活躍されている講師に分かりやすく解説していただくこととしています。

研修に関する詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240801kisya.pdf>

●大分七夕祭りで打ち水を実施します【九州地方整備局・大分市】

8月3日(金)午後7時から大分中央通り47万人の広場にて、大分市下水道部主催の「府内打ち水大作戦」が行われます。大分七夕祭りのオープニングの前に市民500名とともに、弁天水資源再生センターのオゾン水を使い実施致します。今年で3回目の開催となり、当日はバケツとひしゃくを無料配布します。

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1337056966697/index.html>

★図書のご案内☆

■『水に流せない水の話』著者：グローバルウォータージャパン吉村和就

【下水道企画課】

(7月20日号掲載)

http://www.kadokawa.co.jp/bunko/bk_detail.php?pcd=201112000543

■丹保憲仁先生著『都市・地域 水代謝システムの歴史と技術』(鹿島出版会)

の発刊について【下水道企画課】

(7月5日号掲載)

<http://www.kajima-publishing.co.jp/>

=====

【参考情報】

◆松本の水道水、おいしさPR 市上下水道局 <7/28 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/nagano/20120728/CK2012072802000007.html>

◆ひとときの涼求め…東京都心で950人が打ち水 <7/28 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/national/update/0728/TKY201207280013.html>

◆下水汚泥を燃料化へ 民活で横浜市 <7/30 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120730/kng12073020590003-n1.htm>

◆91%が有機汚濁環境基準達成 平成23年一級河川水質調査結果 <7/31 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&word=&category=&serial=27836>

→国交省記者発表は、以下のページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000534.html

◆水質調査:県内一はやっぱり番匠川 佐伯の中学生調査 /大分 <8/1 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/oita/news/20120801ddlk44040581000c.html>

◆国交省が「水の日」に一斉打ち水、ミス日本も参加 <8/1 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/housing/jutaku-s/JSN201208010002.html>

◆きき水や水質実験「授業」 三重 <8/1 朝日新聞>

http://mytown.asahi.com/mie/news.php?k_id=25000001208010007

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

